



四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

誕生石であるダイヤモンド、ルビー、サファイア、エメラルド、ガーネット、トルマリンなどの①②の①宝石は、いずれも科学的には「②鉱物」と呼ばれるものです。

この鉱物の原石をカットして磨いたものが「宝石」です。宝石の原石となる鉱物は、「石」の中に含まれています。そのため、鉱物は、山にある石から人の手で取り出されると思われるかもしれませんが、自然に石から鉱物が外れることもよくあります。

たとえば、石のもろい部分が風化、つまり雨や近くの植物に含まれる酸、①カンダン差、凍結などによってくずれ、中の硬い鉱物が姿を②アラワスような場合です。これが川の水で運ばれ、同じような比重の鉱物が特定の場所に集まっていれば、川の中から鉱物をより出すことができます。

鉱物は、川原などで見かける石ころの中にも入っています。石は鉱物の集まりなのです。どのような鉱物が寄り集まって石を作っているかで、石の種類が決まります。

鉱物を知るのは、石を知ることです。鉱物を探したいと思ったら、まずは石の多い川原に出てみるのがいいでしょう。川原は鉱物の宝庫です。

③ 鉱物はもっと身近で見えることもできます。前述のように宝石は鉱物ですし、街にそびえる大きなビルの壁や床には、自然石がよく使われています。もちろんこの石も鉱物の集まりです。寺院の庭にある庭石や石碑にも、鉱物を見ることができます。さらに私たちに必要な資源として取り出された金属やレアアースを用いた製品は、身の回りにあふれるように存在しています。現代の生活において、鉱物はなくてはならないものになっています。

(A) 鉱物はどこで生まれるのでしょうか？ それは、マグマの中です。マグマが地表付近に上昇し、温度が下がっていくと、冷え固まっていく過程で、中に鉱物がアラワれてきます。

その他にも、マグマからしみ出した水やマグマで温められた水(熱水)が、周囲の石や③チソウを変化させて、鉱物ができることがあります。また、マグマの熱によって、周囲の石ころの中に、新たな鉱物ができることもあります。

一方、私たちの足元、地球の表面は十数枚の「プレート」でおおわれていますが、このプレートが沈み込むときに、海底の堆積物なども地下に巻き込まれるようにして高い圧力がかかり、鉱物ができることもあるのです。

(柴山元彦「身近な美鉱物のふしぎ」)

問一 ①②③のカタカナを漢字に直しなさい。送り仮名が必要な場合は送り仮名も書きなさい。

① カンダン ( ) ② アラワス ( ) ③ チソウ ( )

問二 ①「宝石」の説明として正しいものを一つ選び、記号に○をつけなさい。

- ア 誕生石はすべて宝石ではあるが、鉱物ではない。  
イ 宝石は鉱物の原石をカットして磨いたものである。  
ウ 宝石の原石は、山にある地面から取り出される。

問三 ②「鉱物」の説明として正しいものを一つ選び、記号に○をつけなさい。

- ア 鉱物は山にある石から人の手で取りだされたもののことだけをいう。  
イ 鉱物は山だけではなく川原で見かける石の中にも入っている。  
ウ 石のもろい部分がくずれて、中から出てきたものは鉱物ではない。

問四 ③「鉱物のもっと身近で見えることもできます」とありますが、宝石、金属やレアアースを用いた製品以外ではどこで見えることができますか。文章中から十字程度で二つぬき出しなさい。

( )

問五 (A) にあてはまる言葉を次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

- ア だから イ つまり ウ では エ けれども

問六 鉱物がどうやってできるかについて、文章中の言葉を使って四つ書きなさい。

( )

( )

( )

( )

受験番号

氏名

## 五 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

八稜高校の美術室に犬（コーシロー）が迷い込んできた。美術部員のみんなで飼い主や里親を探すが、なかなか見つからない。そこで学校で飼いたいと、美術部の生徒と顧問の五十嵐先生が美術室で校長に頼んでいる。優花は、見殺しにするのか、コーシローをどうすることがよい方法なのかと校長に詰めよった。

「難しい質問だ」

そう言ったとき、校長が考えこむ。それから皆が黙った。

沈黙に耐えきれず、優花はうつむく。

言いすぎた気がする。しかも何の解決にもならないことを言ってしまった。

①突然、部屋の隅から拍手のような音がした。

その音に勇気づけられ、優花は顔を上げる。

※イーゼルの前にいる早瀬と目が合った。まっすぐな眼差しでこちらを見ている。

小気味よい音を響かせ、彼は指で紙を弾いていた。

指先を布で拭きながら、「ちよっといいですか」と早瀬が立ち上がった。

「三年生の早瀬光司郎です。②僕はその犬とはまったく関係ないんですけど……」

早瀬がケージに近づき、眠っているコーシローを抱き上げた。

「正直、それほど愛着もない。でも勝手に僕の名前をつけられたあげくに保健所で殺処分。それは非常に気分が悪い。」

目覚めたコーシローが早瀬の肩に前脚を置き、首筋の匂いを嗅いでいる。（③）がないと言うわりに、優しくその

背を撫でると、早瀬が校長にコーシローを差し出した。

④意外にも手慣れた様子で校長が受け取り、小さなため息をもらす。

「早瀬君、保健所に引き渡したらすぐに殺処分になるわけではないよ。無事に里親が見つかるケースもある」

そうかもしれないが、と早瀬が校長の前に立つ。

「公立の小学校でうさぎや鶏を飼っているのに、どうして公立の高校で犬を飼ってはいけないんですか？」

「それはそうだな」

五十嵐が何度もうなずき、校長に顔を向けた。

「小学生でもちゃんと飼育してますからね。八高の生徒なら、それはきちんとやれるでしょう。ハチコウに犬。しゃれも

きいてる、なあ、コーシロー」

「僕に言ってるんですか、それとも犬？」

両方だ、と五十嵐が手を伸ばし、校長からコーシローを受け取った。

「いかがでしょう、生徒が責任持って面倒を見るなら、しばらくの間、美術部の部室の一角を提供してもいい。顧問の私

はそんなふうにも考えるんですが」

⑤前例がない」

五十嵐に抱かれたコーシローが、校長のもとに戻ろうとしている。その様子を見ながら、校長が言葉を続けた。

「⑥しかし……いいでしょう。飼い主が現れるまで飼育を許可する。ただし、他の生徒や学校側に迷惑をかけるようなこ

とがあれば、即座に新たな対応を検討するが」

先生、と藤原が手を挙げた。

「つまり、⑦それってOKってことですか。……言い直しますね。コーシローに居場所を提供していただけるといことですか」

「そういうことだ。至急、世話人の窓口を決めて私に報告するように」

校長が立ち上がり、全員を見回した。

「⑧責任とは何か。命を預かるというのはどういうことか。各自、身をもって考えていきなさい」

※イーゼル…絵を描くとき、画板やカンバスをかける台 ケージ…動物を飼育するときに入れる檻

（伊吹有喜「犬がいた季節」）

※問題はその四に続きます。その四はその二の裏にあります。

| 受験番号 | 氏名 |
|------|----|
|      |    |

問一 ①「突然、部屋の隅から拍手のような音がした」とありますが、この音はだれがたてたと考えられますか。文章中から名前をぬき出さない。

問二 ②「僕はその犬とはまったく関係ないんですけど……」の「……」にこめられた思いについて説明した次の文の空らんにあてはまる言葉を、書きなさい。

・話題の中心である犬が（ ） 　　（だから、その犬がこの先どうなるか気になる。

問三 （ ③ ）にあてはまる言葉を文章中からぬき出さない。

問四 ④「意外にも手慣れた様子で校長が受け取り、小さなため息をもらす」から、校長のコーシローに対するどのような気持ちがわかりますか。次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

ア コーシローをこのまま学校に置いておくのは絶対反対だ。

イ コーシローは保健所で殺処分になっても仕方がない。

ウ コーシローが殺処分されることを望んでいるわけではない。

エ コーシローを保健所に渡そうとは全く考えていない。

問五 ⑤「前例がない」についてだれが言った言葉ですか。文章中からぬき出さない。

問六 ⑥「しかし……」の「……」に込められた、校長の迷いを簡潔に書きなさい。

問七 ⑦「それってOKってことですか」とありますが、これを具体的に言いかえた次の文の空らんにあてはまる言葉を、考えて書きなさい。

・（ ） a（ ）を（ b（ ）してもいいということですか。

a…（ ） b…（ ）

問八 ⑧「責任」とありますが、どういう責任ですか。考えて具体的に書きなさい。